

シャローム・ガーデン

□発行日 2017年7月1日

〒350-0262 埼玉県坂戸市大字新堀1-1

TEL.049-282-4590(代) FAX.049-282-2180

□発行人 牛久保 寛一

E-mail : shalom7h@nifty.com <http://www.shalom7h.or.jp/>



平成29年5月14日 シャローム祭にて！

シャローム埼玉の理念

『平安』(shalom)

シャローム (shalom) とは、「**平和がありますように**」とのあいさつ言葉です。平安、無事、安心、健康、繁栄、長寿、勝利など、人生の望ましい状態をさす豊かな言葉です。

そして、福祉サービスの提供にあたりましては、聖書の「**自分を愛するように隣人を愛しなさい。**」をもって、シャロームの実現に努力します。



社会福祉法人
シャローム埼玉

シャローム埼玉の実践標語

サービス実践標語として、シャロームのセブンハート（7つの心）を定めました。それは、**真心** (Heart)、**博愛** (Human)、**健康** (Health)、**援助** (Help)、**尊厳** (Holiness)、**希望** (Hope)、**幸福** (Happiness) を希求する心です。福祉サービスをご利用くださるお客様一人ひとりの心がセブンハートで満たされますよう願うとともに、奉仕する職員もセブンハートの心をもってシャロームの実現に努力します。

職員は「**明るいあいさつ**」「**優しい笑顔**」「**美しい身だしなみ**」をモットーに福祉サービスの提供に努めます。

経営方針

一 質の高いサービス……………

- ① 利用者の尊厳と自立支援を推進します。
- ② 介護サービスの第三者評価や情報標準化を推進します。
- ③ 経口摂取援助と楽しく美味しい食づくりを推進します。
- ④ 専門医による総合的な健康チェックを実施します。

二 地域福祉の推進……………

- ① 地域福祉の拠点施設として地域密着型サービスに努めます。
- ② 福祉・保健・医療の連携と地域交流を推進します。
- ③ 児童・生徒・学生の体験学習や実習を受け入れます。
- ④ ボランティアの養成と受け入れを推進します。

三 職員資質の向上……………

- ① 専門職としての倫理綱領を遵守します。
- ② 福祉団体の協議会や研修会に積極的に参加します。
- ③ 専門職資格試験に挑戦することを奨励し、職場研修の充実を図ります。

四 自律的経営の強化……………

- ① 社会福祉法人の特性として公共性、公益性を発揮し、社会的責任を果たす事業所を指します。
- ② 法令遵守は元より、経営内容を積極的に公表し、透明性のある経営を推進します。
- ③ 地域やご利用者の意見を尊重し、開かれた経営を推進します。

あの笑顔に支えられて……………

創立二十周年！

シャローム・ガーデン坂戸 理事長 牛久保 寛一



坂戸の新堀の地で、地域の皆様可愛され、地域福祉に少しでも貢献できる施設づくりをしたいたいの思いで先達が開設致しました社会福祉法人シャローム埼玉も、本年度創設二十周年を迎えます。

人言え、20歳の成人式を迎える年度であり、今日まで続けて来られましたのも、ご理解いただきました地域皆様を始め、いろいろな面でご協力頂いて居ります沢山のボランティアの皆様やご利用者とそのご家族の皆様、そして何よりご利用者の事を何時も一番に考え働いてくれている職員が居ればこそと、大変感謝致しております。

二十周年に向けて、一昨年から事業用地の先行取得等新規事業の準備を進めてまいりました。本年度に入り、新駐車場の整備工事を進めるとともに、グループホームのユニット（9床）の設計・増設工事を実施してまいります。この工事に併せ、地域の皆様が気軽に足を運べるような、更に利用・相談しやすい地域包括支援セン

ターと居宅介護支援事業所の事務所の整備も進めてまいります。

来年の4月にはこれらの施設に、市民皆様のご相談やご利用者の受け入れをして参りたいと考えておりますので、今後更なる関係皆様方のご指導ご協力を賜りますようお願い致します。

5月14日の日曜日に、今年もシャローム祭を開催することが出来ました。

今年のシャローム祭には、職員を除きご利用者・ご家族・ボランティアの皆様・地域の皆様等498名の沢山の方にご参加を頂き、盛会に祭りを開催する事が出来ました。

このシャローム祭を見ていて毎年思うのは、ご利用者の何とも言えないあの笑顔のことです。何時もはあまりお気持ちを表にお出しにならない皆様も、このシャローム祭の時は、ご家族と一緒に、本当に嬉しそうなのも言えない笑顔を見せておられるのが印象的です。

職員も、この催し物を実施する事は大変なのですが、この笑顔を見ると大変さも吹き飛んでしまうと申し上げており、今後も更に沢山の皆様にお出でを頂き、シャローム祭を盛り上げて頂くと同時に、皆様と一緒にあの笑顔を見たいものと思っております。



社会福祉法人シャローム埼玉は、平成10年1月14日に県知事の認可を得てから間もなく創立20周年を迎えます。そこで、法人としてめでたく成人式を迎えるこの年度に、様々な記念事業を計画しておりますので、この紙面を通じましてその内容をご紹介します。

社会福祉法人シャローム埼玉創立20周年 記念事業計画書

1. 趣旨 法人の歴史を知り、社会福祉の意識を高め、未来を展望した事業を実施する。

2. 事業

(1) **記念式典（祝賀会）** 予算額 1,400千円

- 平成30年1月14日（日）18：30～ 坂戸グランドホテル
- 出席予定者 元法人役員等（10周年以降退職した役員等）、元職員（10周年以降定年退職した管理職員）、現在の法人役員等、嘱託医、職員、協力・関係者約150人を招待。

(2) **グループホーム等増築** 予算額 115,122千円

- グループホーム増築部分及び居宅、包括の事務所を併せ建築する。
- 工事費内訳

<ul style="list-style-type: none"> ● 本体工事 463.22㎡ 101,908千円 ● 既存改修工事等 7,592千円 ● 設計監理費 5,622千円 	<ul style="list-style-type: none"> ● 財源内訳 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>県（市）補助金</td> <td>7,579千円</td> </tr> <tr> <td>借入金</td> <td>91,200千円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>16,343千円</td> </tr> </table> 	県（市）補助金	7,579千円	借入金	91,200千円	自己資金	16,343千円
県（市）補助金	7,579千円						
借入金	91,200千円						
自己資金	16,343千円						

(3) **創立20周年記念誌発刊** 予算額 1,300千円

- 発刊日 平成30年3月
- 部数 300部
- 内容 法人の設立準備から今日までの概要史
- 配布先 関係機関、役員・職員、その他関係者

(4) **先進地視察研修職員派遣** 予算額 500千円

- シャロームの今後の10年を見据えて、優れた介護を实践する他福祉施設を視察させて頂き、将来展望を考える。
- 意欲のある職員（希望者）10名程度を派遣する。

社会福祉法人シャローム埼玉創立二十周年概要史

社会福祉法人シャローム埼玉は平成10年1月14日に埼玉県知事の認可を得て発足しました。そして1月14日を記念日と定め、法人の歴史を知り、社会福祉の意識を高め、未来を展望した記念事業や記念式典を行って来りました。来年は創立20周年にあたりますので今日までの歴史を紐解いてみます。

胎動期 (平成7～9年)

平成7年1月に、坂戸キリスト教会牧師村上宣道先生の発議により教職員有志によって準備が始まりました。福祉事業家の指導や施設見学、坂戸市や埼玉県の担当部署から指導を受けました。平成8年には法人設立準備、施設整備計画書作成、法人設立発起人や土地・資金の確保、施設建設予定地域への説明等行い、平成9年には、(仮称)シャローム埼玉事務所を設置し、有志が常勤して各種の申請書等を作成、埼玉県から施設整備の内定を受け、知事あてに施設整備計画協議書、さらに社会福祉法人設立申請書を提出しました。また建設予定地では文化財発掘調

査が開始されました。



法人発足当時の役員・職員 (平成11年4月1日)

黎明期 (平成10～13年)

平成10年1月14日に埼玉県知事の認可を得、第1回理事会を開催

して理事長に村上宣道氏を選出、理事、監事の選任、事業計画と予算を決定し名実ともに動きだしました。先ず老人ホームの新築工事請負業者を公開入札で決定、3月には新築工事起工式を挙行し大掛かりな工事が始まりました。運営検討委員会を設置し、将来幹部職員となる専門職の皆さんが、職員就業規則等の規程作りや職員採用試験、施設設備備品購入契約、県や市への補助金申請書、届書を作成するなど開園に向けての準備を整えました。老人ホーム新築工事は平成11年3月には完成、4月1日には職員採用辞令交付式で37人が揃い、さっそく職員研修会を開催、シャローム埼玉の理念、サービスマスターのセブントハートを唱和しました。平成12年度から介護保険制度となり、措置から契約への大変革が実施されました。介護老人福祉施設、短期入所生活介護、通所介護、訪問介護の介護保険事業所を開設しました。法人機関誌「シャローム・ガーデン」を発刊し法人の動きや施設運営状況を知らせ、平成12年9月15日には、「法人設立・特別養護老人ホーム竣工・介護保険事業所開設記念式典」を関係者大勢出席のもとに盛大に挙行することができました。平成13年度から評議員制度ができ、理事、監事、評議員の役割が定まりました。

推進期 (平成14～18年)

平成14年には本格的な介護サービスの提供にも慣れ、ご利用者の増加にも繋がりが、新たなビジョンを描き新規事業の検討を始めました。平成15年には「創立5周年記念感謝の会」を開催、職員を海外研修に派遣しました。4月からシャローム埼玉の事務組織を改め、総務部、第1事業部、第2事業部の3部制にし、新規事業としてグループホーム新設を考え、スウェーデン大使館から資料を取り寄せ、9月から新築工事を開始しました。平成16年1月から第2代理事長に木村公一氏が就任しました。4月からシャローム・グループホーム(定員9人)を開所。職員情報誌「シャロームの窓」を発刊し、職員皆さんの意見や思いが赤裸々に語られ、明るい職場づくりを推進。シャローム祭りでは、施設を開放し、地域のボランティアも参加した賑やかな祭りが毎年繰り広げられました。役員・職員合同の旅行会、観劇会も定期的に行われるよ

うになりました。坂戸鶴ヶ島消防組合主催の屋内消火栓操法大会には毎年出場し、女子の部では準優勝に輝き、訪問介護員2級養成研修会を毎年開催して100人を超える地域福祉人材を養成、この事業の状況を全国社会福祉施設経営者大会（別府市）で発表。地域の幼児・児童・生徒、学生・実習生、またボランティアを受け入れ地域福祉の推進を図りました。役員・職員を対象とした顧問弁護士講話も毎年開催しコンプライアンスに努め、社会福祉専門職資格受験講座も開催し多くの専門職員を育成しました。事業活動収支状況も経営コンサルタントの指導のもとに健全に推移でき、平成17年7月にはシャローム埼玉のビジョンと目標（長・中期計画）策定。平成18年7月1日現在の職員数は91人となり、地域から信頼される介護保険事業を推進することができました。

発展期

(平成19～24年)

平成19年から坂戸市・女子栄養大学の「さかど葉酸プロジェクト」認知症予防研究に老人施設として協力。特別養護老人ホームの入所待機者も200人を超えてい

ましたので増設を計画し、10月には増築（24人分）工事起工式を実施。平成20年には「創立10周年記念感謝の会」を開催しボランティアや職員等に感謝状・表彰状贈呈、職員合唱団が高らかに演奏を披露するなど厳粛にして盛大な会となりました。10月には増築工事も竣工して定員74人となり、平成21年度から居宅支援事業所を開所。子ども介護の学校、認知症サポーター養成研修、シャローム福祉大学などを開催し、地域の介護意識の向上に努めました。介護人材不足からEPAファイリピン人介護士受け入れのためにミンダナオ国際大学へ事前調査に行きました。平成23年の東日本大震災では石巻市の被災者を受け入れるとともに職員災害ボランティアを派遣しました。4月には第3代理事長に大岡俊雄氏が就任しました。かねてより医療機関が必要なことからシャローム鋤柄医院にお願いして「シャロームにつさい医院」を老人ホーム隣接地に開院でき、老人ホームでの看取りを実施することに繋がりました。平成24年1月にはファイリピン人介護福祉士候補者2人を採用。4月には坂戸市から地域包括支援センターの委託を受け事業を開始し、介護職員の処遇改善にも取り組みました。

定着期

(平成25～30年)

平成25年には「創立15周年記念感謝の会」を開催し次へのステップに進むことを確認しました。この15年間を顧みると様々な困難にも直面しましたが、役員・職員の努力と関係者のご支援で解決し、事業も定着し、地域の介護福祉拠点施設として認められるようになりました。平成26年には第4代理事長に牛久保寛一氏が就任しました。かねてからの介護保険報酬引き下げ改定が実施され、該当事業所も出てきましたが職員の努力で改善でき、さらに介護人材不足も深刻さを増し、民間の介護会社撤収や人材不足から新設したホームの定員を減少する事業所も現われるなどの新たな問題が発生してきました。そうした中でも平成27年度の介護保険事業所は、介護老人福祉施設、短期入所生活介護、通所介護、認知症対応型共同生活介護、居宅介護支援事業所に地域包括支援センターで、事務組織も総務部・第1事業部・第2事業部の職員総数111人で運営し、収支状況も安定した決算が続いています。平成28年には経営組織の見直し等に関する社会福祉法の一部改正があり、法人定款を改正し、理

事7人、監事2人、評議員8人、評議員選任・解任委員会委員5人の構成で、各機関の役割を明確にして平成29年度からスタートし、シャローム埼玉創立二十周年記念日となる平成30年1月14日を迎えることとなりました。



認知症専門のデイサービスが始まりました!

グループホーム管理者 杉本恵子

シャローム・グループホームでは、認知症デイサービスを始めました。認知症の方に自宅から通っていただきながら、入浴、排泄、食事などの介護、その他の日常生活を送るうえで必要となるサービスを提供します。

認知症の方の精神的、身体的な部分の援助だけでなく、ご家族の介護負担を軽減することも目的としています。坂戸市内にお住まいの方でしたら、要支援・要介護いずれの方でも利用できます。

開設14年目となるシャローム・グル



ープホームの認知症ケアの専門性と個別ケアで、地域の認知症の方々とご家族を支援します。

デイサービスの1日の流れ

- 9:00 送迎
- 9:15 お茶 健康チェック (体温、血圧など)
- 10:00 健康タイム (体操、外気浴、散歩等)
- 11:45 昼食
- 13:00 お楽しみタイム
- 14:00 活動 (曜日により、園芸や音楽等)
- 15:00 お茶、おやつ
- 15:30 くつろぎタイム (曜日により、歌やお話等)
- 16:30 送迎

*入浴は、希望者のみ対応します。

体験でご利用の石川スミ子様

6月10日 市内にお住まいの石川様が一日体験で参加して下さいました。



「わたし散歩は大好き。都幾川の山奥に住んでいたら、自然が大好きなの。」とお話して下さいました。

ショートステイも利用可能に

そして、グループホームの入所者様が長期入院となった場合の空床利用と

なりますが、認知症専門のショートステイも始まりました。

いずれば、グループホームへの入所を考えているご利用者に利用して頂ければ幸いです。

グループホームの広々としたリビングは、活動の中心となっています。食事作り、書道に工芸、溢れる音楽や体操。そこにはご利用者の笑顔があります。

是非一度、シャローム・グループホームにお立ち寄りください。



春の復活節 (イースター) 記念会

前常務理事・牧師 平田金次郎

社会福祉法人シャローム埼玉では、特別養護老人ホーム「シャローム・ガーデン坂戸」で生活されたご利用者で、事情によりご家族が引き取ることで、きないご遺族ご希望者のために、法人のお墓を二〇一〇年春に隣接する鳩山町の霊園に建立しました。

当時、お墓は「六親等内一基」という約束事があるようで、法人のような「集合型」のお墓の建立には墓石屋さんが良い顔をしませんでした。しかし、福祉施設で亡くなられ、困難なご利用者ご遺族の為にこの事情を業者が汲んでくれて建立できたものでした。

現在、お二人の故人が納骨されています。

以来、毎年キリスト教の春の復活節 (イースター) には牧師の司式によって法人による「墓前記念会」が開かれています。



墓前記念会にはお二人の写真が飾られ、讃美歌が歌われ、牧師から天国や復活、永遠の命の希望について聞き、列席者一同が献花をして故人を記念します。

今年四月十六日がイースターでした。中島常務、浅尾園長、荒川課長が法人を代表して参列、お二人を心から記念させていただきました。ちなみにキリスト教では仏教で言う「法事」に当たるものを「記念会」と言います。

聖書の「記念する」とは「刻みつける」との意味を持ちます。一年に一度の墓前記念会ではありますが、シャローム・ガーデン坂戸で生活を共にして下さった故人を偲びつつ、心に刻みつつ、職員一同、更に質の高い介護サービスが提供できるようにと願われています。

